

ウシオ電機株式会社

リフレッシュ休暇 / 誕生日休暇

社員が休暇をきちんと取れる促進策も重要!

ウシオ電機は、社員にきちんと休暇を取らせることへの意識が高い会社です。1964年の創業以来、企業理念で“会社の繁栄と社員一人ひとりの人生の充実を一致させること”を冒頭に掲げており、その考え方は休暇制度のあり方にも反映されています。

まず、休暇制度の基本である「年次有給休暇」(年間23日)を全社員が大手を振って取れるようにすることが大切です。その促進策として、当社では、年次有給休暇の計画的付与制度を導入しています。

これは社員が必ず休暇を取れるように、半期分(事業所によっては四半期分)の取得予定を前

もって申請する制度です。休暇をあらかじめ決めることにより、業務を計画的に進め、安心して休暇を取ることができます。

その運用方法は、人事部門が各部署にカレンダー形式の申請用紙を配り、各部署長に管理を依頼し、部署内で取得時期を調整しています。この結果、年次有給休暇の取得率は約7割(2012年度は68.9%)に達しています。

また、未取得分に関しては、1年間繰り越しが可能であり、繰り越しが失効となった有給休暇から無期限で積み立てられる「積立年次有給休暇」も用意しています。これは万一の傷病や、家族の急な看護・介護などに使うことができます。

「リフレッシュ休暇」の利用者は9割以上!

当社が特に力を入れている制度が「リフレッシュ休暇」です。これは勤続10年目から5年ごとに取得できる特別有給休暇(取得可能期間は4月～翌年3月)です。勤続15年目であれば8日間(特別有給休暇5日+年次有給休暇3日)を取得できるので、土日をあわせ、長期の休暇を楽しむことができます。ここでポイントとなるのは、「リフレッシュ休暇」の取得対象者に人事部がその取得を促していることです。まず取得前年度の2月に、本人および上司にメールを配信し、場合によっては、通知書を直接手渡します。さらに半期経過時に取得していなければ、10月に再び通知しています。その結果、「リフレッシュ休暇」の利



👉 ここに着目!! (部分とリンクしています)

- 導入に至るまでの背景
- 導入の目的
- 導入のプロセス
- 導入後の効果
- 今後の目標

用率は毎年9割以上となっています。

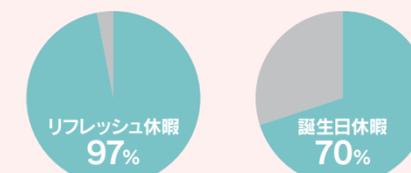
また、勤続25年目を迎えた社員には10日のリフレッシュ休暇に加え、一律50万円の「シルバーボーナス」が支給されます。これによって社員がより内容の濃い「リフレッシュ休暇」を過ごせるようになっています。

個人への小さなプレゼント「誕生日休暇」

そして会社から全社員への小さなプレゼントが「誕生日休暇」です。社員の誕生日に休暇(1日)を付与して、年1度の特別な日を家族や友人とゆっくり祝ってもらいます。誕生日が土・日・祝日である、また、仕事都合の場合は前後にずらすことも可能です。これは社内ですっかり定着しており、本人に通知するまでもなく毎年7割の社員が利用しています。

当社はほかにも、配偶者分娩休暇や不妊治療休暇をはじめとした様々な休暇制度を実施しています。時代の流れや法改正に伴って、今後とも社員に最適な休暇制度を検討してまいります。

■ 2012年度の休暇取得率



直接手渡す通知書等の効果で「リフレッシュ休暇」の取得は9割以上。また、「誕生日休暇」も社内にすっかり定着した。

人事部 調査役
辺見 香さん



会社データ
【事業内容】製造
【従業員数】1,799名(2013年9月30日現在)
【年次有給休暇の取得率】68.9%
【年間休日数】125日
【URL】http://www.ushio.co.jp/

制度活用事例



総務部 調査役
早坂 淳吾さん
【リフレッシュ休暇】

長い休暇で心身ともにリフレッシュ!

勤続年数10年目から5年おきの節目に取得できる「リフレッシュ休暇」は、全社員が楽しみにしている制度です。私は現在勤続16年で、これまでに2回利用しました。

最初の休暇は、「リフレッシュ休暇(3日)」と土日、年次有給休暇を合わせた7日間でハワイ旅行を楽しみ、妻と幼い息子と家族でリフレッシュできました。

15年目の休暇では、息子も小学生になり、平日を含めた長い旅行はできず、日帰りの旅行で家族とのコミュニケーションがとれました。また、ちょうど所属部署の異動を控えていたこともあり、新しい部署に向けての勉強、読書をしながら自宅でゆっくりとした時間を味わいました。

このようなまとまった休暇は、生活環境の変化に合わせて様々かつ意義深い時間の使い方ができると実感しています。